

丸山湿原群保全の会会報

(第157号)

発行日：2020年(R2)8月19日 編集/発行：丸山湿原群保全の会
〒669-1211 宝塚市大原野字炭屋 1-1 西谷地区まちづくり協議会事務局内

TEL/Fax0797-91-1788
090-1895-8061 (今住)

E-mail：maruyamashitugengun@gmail.com



早いものでお盆も過ぎ、夏が盛りを過ぎようとしています。田んぼでは稲穂が垂れてきました。月末には収穫期を迎えるかも。積算温度で収穫期が決まる稲。コシヒカリで出穂(しゅっすい)から1030℃が適期とか。暑い夏が続くと収穫も早くなるということです。真夏の稲刈り、今や当たり前になってきました。機械の進化もすごいもので、大型機械にはクーラー、カーステレオまで完備されているとか。更にすごいのはGPS自動運転！快適な農作業。素晴らしいのですが、何とかペイできる(元が取れる)農業になってほしいものです。

半面、圃場の集約や機械の大型化は**水田生態系に大きな変化**をもたらしました。昔見られた**生き物たちの多くは今や絶滅危惧種**に。どこかでこの生き物たちを守る動きが必要なのではないでしょうか。生き物の種数減少はいつか人に問題を引き起こすのでは。

先日、小学生が学校で飼育する生き物を探していました。田舎ならいくらでもいそうな気がしますが、なかなか見つからないようです。「イモリは？」というと、「どこにいるの？」と保護者が。そうか「**アカハライモリ**」すら「**環境省準絶滅危惧種**」。これでいいのでしょうか？考えなくては。知らない間に消えていく生き物たち… カッコつけすぎ？

(今住 8月18日作成)

定期活動

★7月26日(日) 定期活動 10名で活動 サギソウ開花数調査ルートササ刈り 観察

梅雨が長引きまだ明けていません。雨上がりの蒸し暑い中、サギソウ開花数調査のルート確保作業です。と言っても第1湿原のササ刈り。植物が最も成長する季節。この時期の刈り取りは、困りもののササ(ネザサ)に対するダメージも大きく、毎年の成果で矮小化が進んでいます。刈り取りも楽になってきました。他の部分もやればいいのですが、きつい作業はできるだけ避けたい団体、冬場の仕事となっています。昨年はキイロスズメバチに刺された会員が出た作業です。(バックナンバー145号)今回は注意！

今回はまたまた新たに新入会員が！しかも初の法人会員さんです。里山の生活に興味を持ち、今



GoPro 片手にしゅっぱーっ！

後の「**田舎ライフ**」をプロデュースしたいと立ち上げられた法人です。出来立てほやほや。「**コチ(東風)**」さんです。映像、古民家再生、イベント企画などなど「田舎」に関することはなんでもチャレンジしていくとか。何かございましたら当会までご相談ください。ご紹介します。丸山湿原群保全の会 HP の YouTube 映像も、関連会社の製作です。ぜひ覗いてみてください。トップの QR コードから簡単にアクセスできます。今回は作業と GoPro (ビデオカメラ) 撮影。記録や情報発信にもご協力いただけそうです。よろしくお願ひします。

梅雨の影響が残る道。かなりの水が流れていました。口々に「いつになったら梅雨が明けるんや



水路になった旧歩道 自然現象

ろ？」と。「**明けない梅雨はない！**」と誰かが言ったかどうかは不明。「天気の子」というアニメもあったしね。明けないかも…と思っていると**7月31日に明けました**。その後は猛暑。

蒸し蒸しの状態の中、現場に到着。刈り払い機は前回から1台不調のため、会所有の1台と個人所有のもの2台を用意。計3台と手刈りの作業です。マスク着用の作業者もいて息が詰まりそうです。野外での活動でそこまでマスクにこだわる必要はないかと思いますが、注意深い人は励行。頭が下がります。ただ熱中症には注意が必要です。不調の刈り払い機はキャブレターのオーバーホールをし、タイヤフラム交換までしたのですが、錆が回っていてやはり修理困難のようです。イグニッションコイルにも不安が。修理に2万円以上かかりそうなので、新品を購入することになりました。同じスチール製で2万5千円（税別）。「安い！」しかも3年保証で買えそうです。デビューは次回か？

梅雨のこの時期は、初夏？夏？のキノコの時期。多くのキノコが見られました。作業中にササの中から巨大なキノコも。最初は「シロオニタケ」の巨大化したものかと思いましたが、調べてみると「**オオオニテングタケ（大鬼天狗茸）**」と判明。多分、1本で人（監督）の頭と同じぐらいの大きさです。これは食べ応えがありそうです。お母さんがキノコ好きということで「プレゼントしたら？」というと、「やめとく」と。正解！ばっちり**毒キノコ**です。ハイカーのグループがさらに大きいものを見つけていました。ネットで調べると



食べ応えあり？巨大キノコ

「本当に毒キノコか？」と食べて検証する方がいて、「**食べ方によっては少量なら大丈夫**」とのこと。いろんな方がおられます。しかし考えてみると、このようなチャレンジから「食べられるキノコ」「食べられないキノコ」が確定してきたのでしょうか。よっぽどキノコは魅力的なのか、食べるものが無かったからなのか…。ついでに**猛毒で有名な「カエントケ」**のネタも。昨年丸山湿原エリアにも出ました。今年も出そうな気がしますが、「触るだけで危険」という話ですが、触るぐらい（汁はダメ）はなんともない、というのがエビデンスのある情報のようです。ま～**避けることは「絶対」**と思いますが。



奥の視点場から この人ら何??



やっぱり最後は手作業 暑い！



サギソウが涼しげに現れました

作業は順調に進み昼頃には予定の刈り取りが終了。手仕事の運び出しもばっちりです。監督も「立ち入り禁止」看板の再設置をがんばってくれました。画像な～し。その代わりに、ササ刈りを迷惑に思ったオオカマキリの幼体が怒っているところをキャッチ。



怒ってる？ オオカマキリ幼体

サギソウ（鷺草）は？という咲いていました。すでに4～5株。今年も20日ごろからの開花と思われます。梅雨で日照時間は少なかったのですが気温が高かったのでしょうか。昨年と同時期の開花です。昨年も早めの開花。「新しい例年通り」となるのか。温暖化なのかどうかはわかりませんが、時期が早まっていると肌では感じます。毎日

確認に行けば科学的なデータになるのでしょうか…なかなかね。

★8月8日(土) 定期活動 10名 定期基礎調査 サギソウ開花数調査観察ライン設置

目的	市内	市外
丸山	47	29
ハイキング	18	17
散歩・登山	34	20

来場者数 計 165 人
(竹筒ポスト人数)

場所	時間	気温【水温】	電気伝導度 (EC)	PH
入口	10:00	27.8℃		
第3湿原	10:22	【25.7】	53.0 μ S/cm	6.9
視点場	10:31	29.7℃	183.3 μ S/cm?	6.8
第1湿原	10:41	【29.4℃】	271.0 μ S/cm?	6.8
第2湿原	10:59	【26.2℃】	48.1 μ S/cm	6.8



ただのカナヘビですが何か！美しい！

この日は基礎調査日ですが、例年サギソウ開花数調査のセンサスラインを張っています。基礎調査と同時進行で、ブロック(区分け)のライン(青)は慣れてきて間違いはないのですが、観察ライン(黄色)の位置が毎年若干ずれてきます。基準点を簡易的に湿原内に設置していることと、ササ類の刈り取りが功を奏し、前より見晴らしがよくなっている関係のようです。「ま～誤差の範囲内」ということでご勘弁ください。(一時期は学術調査とまで言っていました…)



ルート上の木本類 刈り取ります

コロナは第2波の様相ですが、竹筒ポストのカウントは落ち着いてきました。雨と暑さのせいかもしれませんが、「新しいなんちゃら」をまた見つけられたのかもしれませんが。

駐車場で、どこにでもいるニホンカナヘビ(日本金蛇)があまりに美しいのでパシャリ。ウロコを見ているとソクソクします。漢字で書くと「金の蛇」。びっくり。でも納得。

水質データを覗いてみると??の項目が。視点場と第1湿原のEC数値はちょっとミスかも？しかし、2度計測したとか。不思議！



さらっぴんの草刈り機

それと湿原下手のルート確保、イバラなどの木本類刈り取りも実施。ついに「新刈り払い機」登場です。安いパワーはある。しかし重たい。でも新品を使える機会はめったにない、と使用者は喜んでいました。長持ちするやろか？3年保証！3年保証！（農業屋さんをよろしく！有馬高校の下に店舗あり…なんか協賛してくれるやろか？）

新品をさりげなく

刈り取り、ライン設置後の観察見本。今回は監督にお願いしました。足元に見える黄色いライン(紐)、ここより前は進入禁止。???けどこれを皆さんが見るときにはサギソウ開花数調査終了してるのでは？「鬼に笑っていただきましょう」来年の参考ね。実は開花数調査結果を載せるために少し発行を遅らせています。ホンマですよ！さぼってるのではありません。暑さはすべてのやる気を奪っていきますが…さぼってません！



監督による観察見本



ミズギボウシ開花

サギソウ（鷺草）は、今回がピークかと思わせる勢い。16日がピークになるかドキドキです。特に合わせるわけでもないんですが欲が出ます。他にはミズギボウシ（水擬宝珠）や、コマツカサススキ（小松毬薄）などが咲き出しました。ギボウシ類はよく目にしますが、このミズギボウシは湿地の周囲に生え、花数が大変少ないのが特徴です。葉の幅もギボウシの中では一番細いそうです。貧栄養植物。アギナシ（顎無）はそろそろ終わり。ミミカキグサ類が出てきてもいいころなのですが、まだ花が見られませんでした。ヒナノシャクジョウ・ホンゴウソウは時間にゆとりがなく観察できず！次回に期待しましょう。

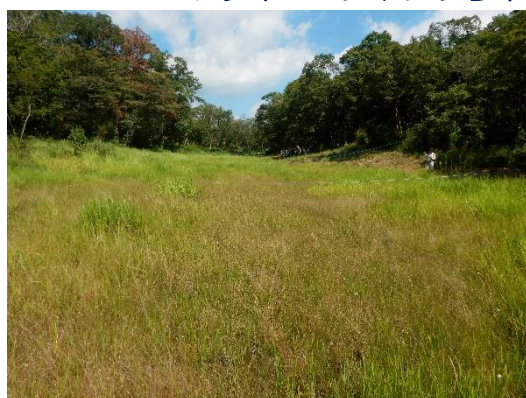


コマツカサススキ

サギソウ開花数調査★8月16日（日）第1湿原 29名参加（調査員 24名）酷暑？猛暑？暑い！

コロナで一般参加がどうなるかと思いましたが、15名の方が参加（行政関係4名を含む）。5年連続の強者もおられたようです。「何回来ても運営あかんやないか！」と怒られそうです。

しか～し！今年の「サギソウちゃん」は一味違った！まさに最盛期？と言わんばかりの開花数。



一目千本？ 見える？ あるんだな～

サギソウを初めて見る方は「小ささと地味さ」に驚かれるかもしれませんが、1000株近い花を一度に見られることはまずない！まさに「一目千本」ちょっと少ないみたいですが（一目一万本と言いたい）。参加者ではなく、翌日（17日）に観察に来られた方から「感動しました！ありがとうございます。」と突然の電話も。「ありがとうございますと言われても…」花は勝手に咲いている。カッコイイ…。

今回は「神戸新聞」や「北摂里山博物館」も取材に入ってくれました。スタッフ、取材、監督を差し引いて24名で計測。5班に分け、湿原上手と下手から実施。もちろん集合時にはアルコール消毒、マスクも確認。熱中症対策のため、マスクを外せるところはできるだけ外して活動。



黙々と自分を信じカウント

数えていくうちに「昨年より確実に数は多いよ」と声が。集計表を持ち寄りスタッフが電卓をたたき。「暑さで集中力が…」結果左の表のようになりました。944株！年々増えているように感じますが、こればかりはタイミングの問題もあり。人知れず1万株咲いている時期もあるのかも？それはないやろ！サギソウばかりになっても異常。それはないにしても、多様性とは何ぞやと考える1日でもありました。現地解散後、残って観察を続けていた会員から、「ヒナノシャクジョウ・ホンゴウソウ（本郷草）発見」と連絡がありました。執念恐るべし！画像はブログにアップしています。ぜひ覗いてください。



消毒・マスク エライ時代です

2020 サギソウ開花数調査結果

丸山湿原エコミュージアム推進協議会
(実施団体 丸山湿原群保全の会)

調査結果（丸山湿原群 第1湿原のみ実施）

調査日：2020年8月16日（日）（天候：晴れ）

5班平均 少数切り捨て（24名で計測）

区画番号	開花株数	備考	(参考)				
			2019.8.18 開花株数	2018.8.18	2017.8.19	2016.8.20	2015.8.19
1	0	最上段	0	0	0	0	0
2	17		5	4	6	0	1
3	55		20	4	8	3	1
4	109		49	31	17	9	20
5	180		88	83	60	4	79
6	219 (6)	(小湿地)	143 (7)	121 (2)	93 (2)	33 (0)	83 (0)
7	168		114	60	63	7	66
8	119		125	90	52	26	87
9	77	最下段	86	41	40	21	26
合計	944		630	434	339	103	363

総開花株数 944 株（各区画の小数は切り捨てで集計）
（調査発表時集計ミスがあり発表と少し違いが出ています）

考察として…（私見）

- ・サギソウの株数は増加している？
- ・暖冬だったが、春先からの気温は低めに推移。
- ・梅雨明けが7月31日で遅く、日照時間が短いように感じたが開花は早かった。
（今年も7月20日ごろ初見）最盛期かやや過ぎていると思われる。
- ・発芽時期からの水位は低め。入梅後は十分に確保。8月は雨なしたが湿潤に推移。
- ・冬季に湿原内のヌマガヤの刈り取り・夏の観察路ササ刈りにより昨年以上に視界が確保できていた。草丈も低めに推移している。ヌマガヤやササ類・本郷草の刈り取りは重要。
- ・一時的な集中豪雨（時間雨量 80mm程度）はあったが、湿原内は安定している。
- ・現在の管理（保全）方法で、サギソウにとっては良いと思われる。
- ・関連性は不明だがミミカキグサ類の減少があるように思われる。

集計結果 考察（私見）読める？

クジョウ（雛の錫杖）・ホンゴウソウ（本郷草）発見」と連絡がありました。執念恐るべし！画像はブログにアップしています。ぜひ覗いてください。

次回活動 8月23日（日）9月5日（土）福井県中池見湿地ガイド研修ツアー（万全なコロナ対策で）
9月12日（土）27日（日）10月10日（土）25日（日）今年度の夏季セミナーは中止！